

< 実践事例 東京都立つばさ総合高等学校 >

1. 取組・活動名

「高校生環境サミット」の開催

2. 取組・活動のねらい

- 国際的に課題となっている環境保全への取組をテーマに有識者を招き、環境問題について理解を深めるとともに、様々な学校・大学・東京都環境局・NPO 法人等と交流や情報交換を行うことで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。
- 生徒自身が企画・準備・運営することで、自主・自律・自治の精神を育成する。

3. 教育課程上の教科名・時数

「特別活動・5時間」他

4. 実施上の工夫

- ・校務組織として本校の環境教育・環境活動に取り組む「ISO推進委員会」に、教職員・生徒・保護者が一体となって活動を進めている。
- ・環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証を取得し、成果や取組内容の改善等についてPDCAサイクルを生徒とともに実施している。
- ・「今月の目標」を毎月定め、登校時の宣伝活動や広報紙の発行を通じて環境問題に関する普及啓発活動に自主的・主体的に取り組むことにより環境保全への意識を高めている。

5. 本取組・活動の内容



「基調講演」

- ・テーマに関連した有識者により1時間程度の基調講演を毎年実施している。
- ・昨年は「海と環境」がテーマで、WWFジャパンの専門家をお招きして、「持続可能な環境保全への取組」に関する講演をしていただいた。



「パネル展示」

- ・昨年は8つの高校をはじめとする22の団体が、それぞれの取り組みに基づく展示・実演・体験企画を実施した。
- ・本校の生徒もエコクッキングや廃油キャンドル製作の体験企画を実施した他、ISO委員会の生徒が「カーボンオフセット」の活動について展示し、来場者に紹介した。



「高校生の実践発表」

- ・希望した参加高校の生徒が環境に関する実践・研究のプレゼンテーションを実施している。
- ・昨年は本校を含む3校が舞台に立ち、自然環境の保護、フードロス削減、リサイクル活動の成果と課題といった発表を行った。

6. 成果

- ・毎年実施している基調講演等を通して、本校の生徒はもとより外部の参加者からも、「環境問題について日本や世界で今起きていることが分かってよかった」「もっと環境問題について意識を持たないといけないと思った」など、環境問題について理解を深めたり、課題を共有できたりすることができた。
- ・調べ学習やポスターセッション等を通して、課題解決能力やプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を高めることができた。
- ・年度当初から、生徒が環境サミットのテーマや基調講演の講師、その他の企画内容について検討し、環境サミットの企画・運営も自主的・主体的に行うことで、自主・自律・自治力を養うことができた。